

ふじさんのひ  
2月23日 世界遺産へ弾み

「富士山だ」CD発売

ムーミン・リバー・ウォーカーズ 富士宮で披露

世界文化遺産の登録に向けた応援歌「富士山だ」のCD写真が富士山の日の23日、NPO法人「グラウンドワーク三島」から発売となった。CDをリリースした新ユニット「ムーミン・リバー・ウォーカーズ」は、この日富士宮市内で開かれた地域再生シンポジウムに飛び入り出演し、発売後初のステージを披露した。

サビの部分ではボーカルの若生りえさんが「ご一緒にどうぞ」と詰めかけた市民らに呼びかけ、会場全体で「富士山だ 富士山だ」と連呼した。

作詞の故阿久悠さん(07年死去)が「富士山の歌だから、易しくて分かりやすいのがいい」と言い残したため、加藤登紀子さん作曲のメロディーは覚えやすく、親しみやすい。

ステージの後、グラウンドワーク三島の渡辺博事務局長は「この歌は、閉塞感にあふれた日本を元気にしてくれる。東日本大震災の被災者とも一緒に歌い続けたい」と参加者に訴えた。

CDは一枚1200円。売上金の一部を富士山の環境保全活動に充てる。問い合わせはグラウンドワーク三島(0555・9833・0136)まで。

【野島康祐】



「富士山だ」を熱唱する「ムーミン・リバー・ウォーカーズ」の若生りえさん(左)。奥はキーボード担当のルイルイさん

毎日新聞

25 静岡 静岡東 2012年(平成24年)2月24日(金)